

「イギリス海外研修」事後研修

イギリス海外研修 事後研修 「研修の成果の還元について考え行動する！」

日 時：平成27年11月27日(金) 放課後

場 所：関高校1-5教室

対 象：イギリス海外研修参加者(30名)

Partner school ヘイドン校にクリスマスカードを送りました。



- 久しぶりに 30 名揃い、賑やかに研修が始まりました。まずは校長先生から、ヘイドン校との調印証が立派に校長室に飾られているとの報告を受けました。さらに校長先生からは『国際情勢が不安定な今だからこそ、この研修で学んだことを生かして自分が何をすべきなのかを考えてほしい。』とのお話がありました。「1961 年ケネディ大統領が就任演説で “Ask not what your country can do for you. Ask what you can do for your country.” と訴えたように、今私たちは your country を your school, friends, family, local society・・・に置き換えて、『自分たち自身が、学校・友だち・家族・地域社会などのために何ができるのかを考え行動することが大切だ』と語られ、みな力強くうなずいていました。
- その後、イギリス研修の際、ヘイドン校で交流を深めたパートナーの学生一人一人に、そして、グループごとにヘイドン校の全生徒に皆さんに、クリスマスカードを制作しました。SGH 事業の一環として交流が始まったヘイドン校と、グローバルな諸問題について意識を共有し、その解決に向かって主体的に学び解決方法を考えるような活動をしていきたいと、決意が新たにになりました。



- 1 月に行われる学年発表会で、充実した研修の報告をし、今後関高校として何ができるのかを考えていきたいと思えます。